

単位数	2	学科（型） 学年	工業科 3年	教科書 副教材等	明解歴史総合（帝国書院）
学習目標		近現代史を中心とする世界の歴史を、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、人類の課題を多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	第2部 近代化と私たち 1 江戸時代の日本と結び付く世界 2 欧米諸国における近代化 3 近代化の進展と国民国家形成 4 アジア諸国の動揺と日本の開国 5 近代化が進む日本と東アジア			○18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、理解する。 ○18世紀以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ○列強の帝国主義的政策とアジア諸国の変容を理解し、現代社会に与えた影響と課題について考察する。	
2	第3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1 第一次世界大戦と日本の対応 2 国際協調と大衆社会の広がり 3 日本の行方と第二次世界大戦 4 再出発する世界と日本			○第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカの台頭、国際連盟の成立などを基に、第一次世界大戦後の国際協調体制について理解する。 ○第二次世界大戦の推移と戦後の世界に与えた影響、戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向や冷戦下での国際情勢について考察する。	
3	第4部 グローバル化と私たち 1 冷戦で揺れる世界と日本 2 多極化する世界 3 グローバル化の中の世界と日本			○石油危機、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に市場経済の変容と課題を理解する。 ○冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を考察する。	
評価の観点			内 容		
知識・技能			・歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会を主体的に生き、国家社会を形成する日本国民としての自覚を持つことができる。		
思考・判断・表現			・歴史的・地理的事象から課題を見出し、日本及び世界の歴史が形成される過程と生活文化の地域的特色を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、その変化の過程を適切に表現することができる。		
主体的に学習に取り組む態度			・歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用することができる。		
評価方法	授業中の学習意欲・態度、学習に取り組む姿勢を評価するとともに、年間5回の定期考査の結果をもとに学習内容の理解度と定着度を評価します。さらに、ノートの等の提出により、記入状況を評価します。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 授業では、黒板に書かれていることをノートに書き写すことはもちろんのこと、話をよく聞いて大事だと思ったことは、ノートに自主的に書き留めよう。					
○ 現代世界の人々の生活がわかるテレビ番組を積極的に見てみよう。					
○ 新聞やインターネットから情報を得て、世界で起きていることに興味をもとう。					